

資料 No. 2

予約型乗合い交通「ゆたぽん号」(温泉場エリア) 利用説明会の報告

日時

令和4年12月19日(月) 18:00~19:15

場所

温泉場ぶらりお休み処

参加者数

3名

内容

- 予約型乗合い交通「ゆたぽん号」の利用について
 - ・運行概要(運行時間、運賃、乗降ポイントなど)
 - ・利用方法や運行ルールなど
- 予約型乗合い交通「ゆたぽん号」運行実績について
- 予約型乗合い交通「ゆたぽん号」利用者体験談
- 予約型乗合い交通「ゆたぽん号」の利用に対するご意見等

主な質疑・意見・要望等 ※「⇒」は事務局の回答

- ・目的地エリアのポイントは現在10か所であるが、今後増やす予定はあるのか。
⇒今の時点ではないが、稼働して3年が経過し、これまでの実績や皆さんからのご意見等を踏まえ、検討していく必要はあると考えている。
- ・「ゆたぽん号」を利用したいが、自宅からだ乗降ポイントが④まで下るか、万葉郷の方まで上らなければならず、高齢者には利用しづらい。ポイント⑤を利用する人はあまりいないだろうから、みんなが利用しやすいところにポイントを移動できないか。
- ・交通不便エリアを出ると少なくとも駅まではノンストップなので、途中にある病院等に行けない。バス通りにポイントを作れないのであれば、脇道でもいいので作ってほしい。
⇒宮上区域内を、生活圏としている人が多く、そういった方にとっては、区域内にポイントがあれば、生活するのに便利なんだろうと気づかされた。
- ・乗降ポイントは、ごみステーションのところになっているが、ごみステーションは住宅から離れたところにあるので、これから乗る人を増やすためには、個人の家に迎えに来てくれて、降りるところは目的地エリアとすればと思う。温泉場だけでなく、鍛冶屋や福浦もそうだと思う。

- ・ どういう理由で「ゆたぼん号」を利用したいのかを調べて、どこにポイントを置けば、利用しやすくなるのか柔軟性を持って変更をしていってほしい。
⇒アンケートの回収率や説明会の参加率が低く、潜在的な意見を聞くことができていない。
- ・ お年寄りが夜の暗い時間に下ってきて説明会に参加するのは大変。お年寄りには聞かれないと意見を言いづらい人も多いので、町から歩み寄って、意見を言いやすい環境を作ってほしい。
- ・ 自分はまだ利用したことはないが、今後免許を返納した際には「ゆたぼん号」の利用を視野に入れているので、今後の展開を知りたい。免許返納をしたくても、その後の交通手段を考えると踏み出せない高齢者は多くいると思う。
- ・ 「ゆたぼん号」を生活に組み込んでいる良い実例を聞かせていただけた。生活交通に不安をもっている人がたくさんいるので、今回お話しいただいたような利用者の体験談を聞きたい人は他にもいると思う。
- ・ 利用するメリットを知らずに利用していない人が多いので、知ってもらえるように発信してほしいと思う。
- ・ 今回の説明会をきっかけに「ゆたぼん号」を一度利用してみようと思う。

アンケート用紙に記載のあった意見

- ・ 利用向上のため、システム改善を希望（乗降ポイントの再検討）
- ・ 今回のような意見交換の場、説明会を増やしてほしい。